令和2年度 課の運営方針書

環境生活部　リサイクル推進課

1　課の運営方針

【課の使命】
廃棄物の処理及び清掃に関する法律に則った一般廃棄物の適正な処理（分別・収集運搬・処分）を実施するとともに、市民・事業者・行政が協働して、ごみの発生抑制・再使用・再資源化（3R）を推進することにより、循環型社会の形成を目指します。

【課の目標】
①ごみの発生抑制・再使用・再資源化（3R）のさらなる推進
市民・事業者・行政及び関係団体が、マイバック持参によるレジ袋の削減や食品ロスの削減などを協働して取り組むことにより、3Rの推進を図ります。

②「環境館」を核とした意識啓発の推進
環境館での処理施設見学やリサイクルの体験講座、再生品の展示など、市民が実際に「見て・聞いて」の体験を通じて、ごみ問題や環境に対する意識啓発を行うとともに、環境館への来館者の増加を図るため、市民が主体となった3R推進活動の拠点として事業展開を進めます。

③ごみ処理施設の適正な管理運営
令和元年４月から供用開始した処理困難物選別施設、リサイクルプラザペガサスや徳山下松港新南陽N7地区最終処分場、鹿野一般廃棄物最終処分場等について、適正な維持管理と安定・効率的な運営を行います。また、平成30年度末に埋立終了した周南市不燃物処分場については、廃止に向け環境測定を実施するなど適正に管理します。

④し尿処理一元化に向けた着実な推進
令和4年度からの熊毛地域のし尿・浄化槽汚泥処理の一元化に向け、環境衛生組合の脱退やし尿処理手数料の統一に向けた実態調査、住民説明など着実に進めます。

【働き方改革による業務改善等の取組】
業務スケジュールの共有化を進め、計画的かつ効率的に業務ができる環境整備を図ります。
ごみ処理及びし尿処理に係る施設の機能移転や統合を進め、処理システムの効率化や経費の削減を図ります。

2　担当（係）の使命（果たす役割）

（リサイクル担当）：一般廃棄物の処理計画の立案及び進捗管理を行うとともに、一般廃棄物の減量化及び再資源化の推進に係る事業を効率的に展開します。
（施設担当）　　：リサイクルプラザ、家庭ごみ搬入受付センター、不燃物処分場及びその他廃棄物処理施設の管理運営を適正に行います。
（収集担当）　　：一般廃棄物の収集運搬業務を効率的に実施するとともに、不法投棄廃棄物の回収処理を行います。

3　課の経営資源

（1）課の体制

職員数	43 人	うち	正職員	31 人	・	会計年度任用職員	12 人

人件費	正職員	227,664 千円	会計年度任用職員	30,977 千円

※H30職員平均給与（　7,344　千円）ベース　　※予算計上額

（2）事業規模

歳入予算額	226,356 千円	歳出予算額	2,684,077 千円	（正職員人件費を除く）	担当予算事業数	16 事業

環境生活部　リサイクル推進課

４　課の中期目標（優先順）　第２次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果　（最終目標）
1	８　環境共生 １　低炭素・循環型社会の実現 ３　環境教育・啓発の推進	環境館を啓発活動の拠点として、体験を通じた啓発や情報発信による啓発を推進していくとともに、市内環境衛生推進団体の活動を支援し、連携した取り組みを展開します。 （環境館利用者数　令和２年目標：4,200人、クリーンリーダー設置率　令和２年目標：100％）
2	８　環境共生 １　低炭素・循環型社会の実現 ４　3Rの推進と廃棄物の適正処理	市民・事業者・行政及び関係団体が協働して、ごみの発生抑制・再使用・再資源化に取り組み、ごみの減量化と再資源化を促進します。（市民一人一日当たりのごみの排出量　令和２年目標：678g、リサイクル率　令和２年目標：32.3％、最終処分量　令和２年目標：3,029t） また、ごみ処理経費の削減を図るとともに、ごみ施設等の適正な維持管理と効率的な運営を行います。